

# 地域概要書：牧の台小地域

## 1 地域の基本的な状況

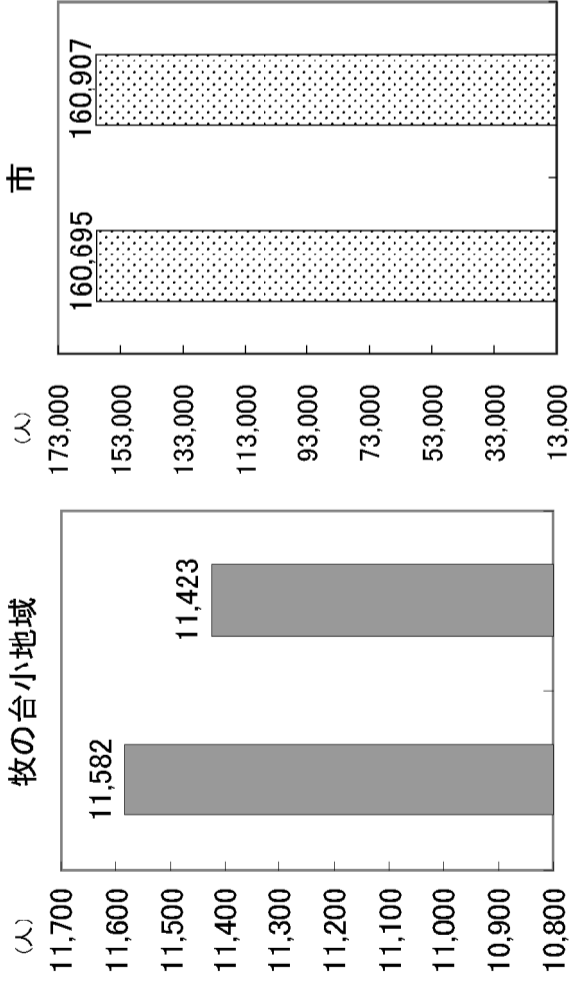
### 位置

市の北東部に位置しています。



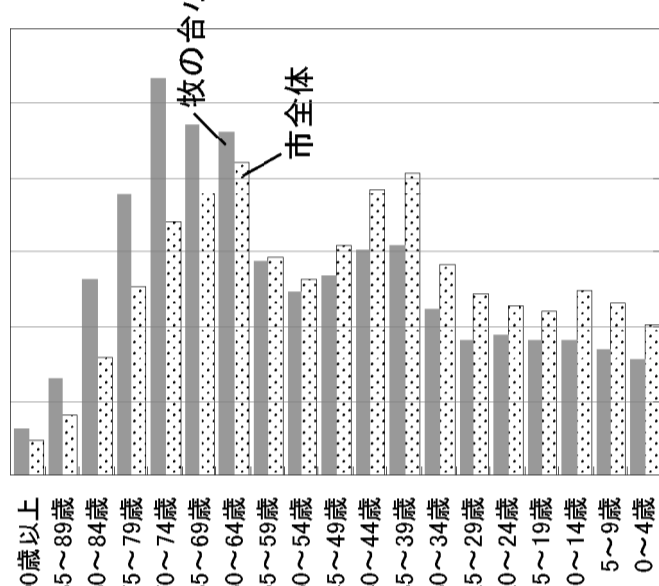
### 人口の変化

5年間で、1.4%減少しました。一方で市全体では、0.1%増加しています。



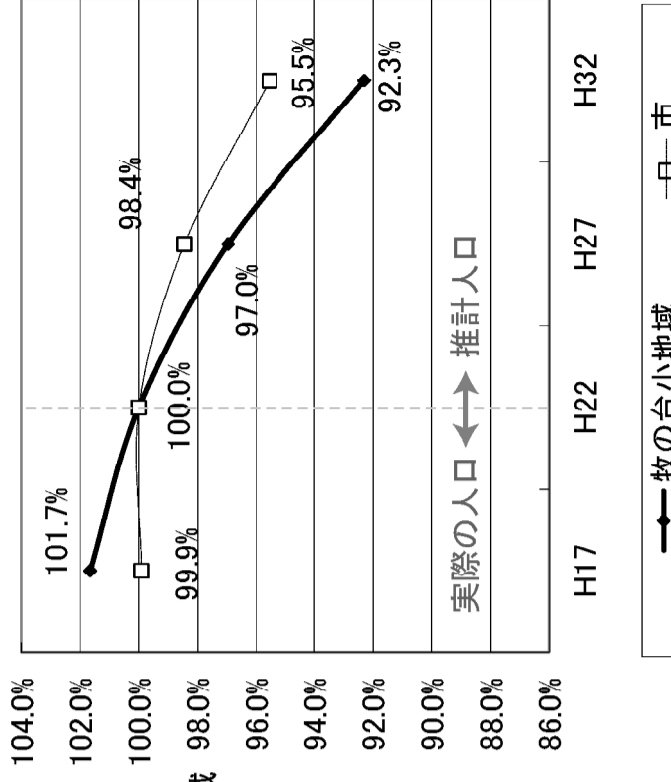
### 年齢別人口構成

人口を年齢別にみると、70～74歳が最も多く、続いて65～69歳、60～64歳が多くなっています。



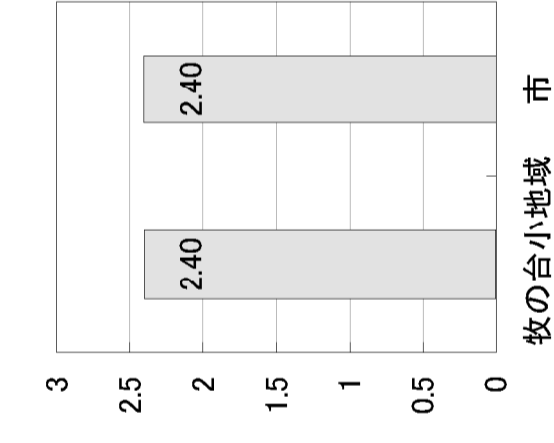
### 地域の将来人口推計

地域の将来人口は、10年後には800人程度(8%)少なくなると推計されています。



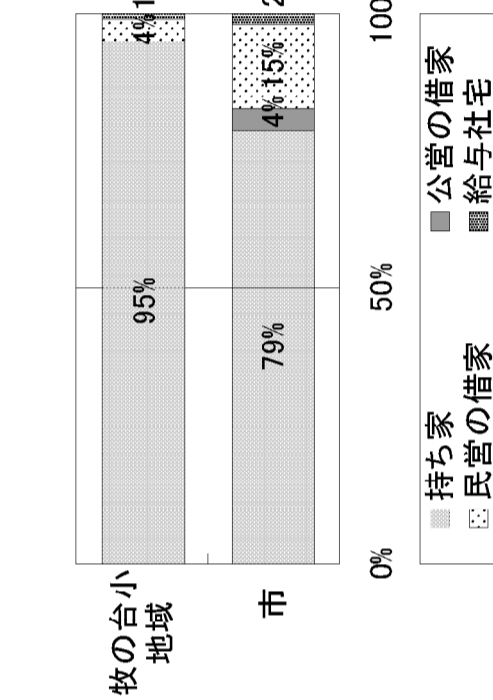
### 平均世帯人員

世帯あたりの人口は、2.4人となっています。



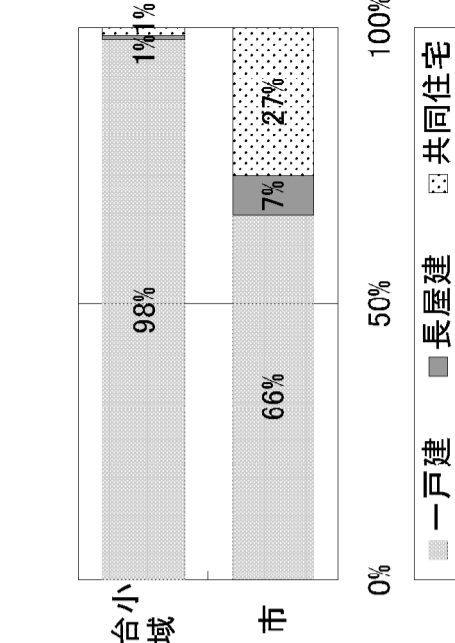
### 住宅の所有

市平均よりも、持ち家の割合が大きくなっています。



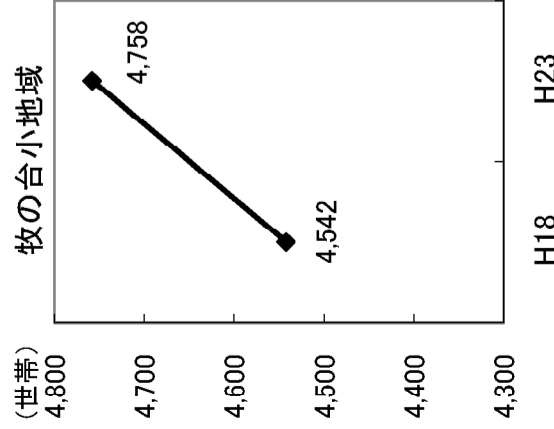
### 住宅の建て方

市平均よりも、一戸建の割合が大きくなっています。



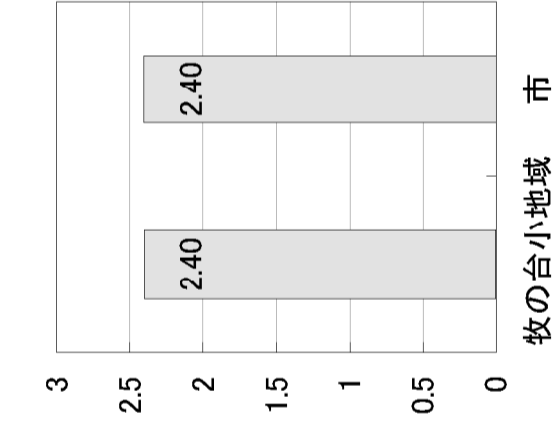
### 世帯数の変化

世帯数は、5年間で4.8%増加しています。市全体では5.9%増加しました。



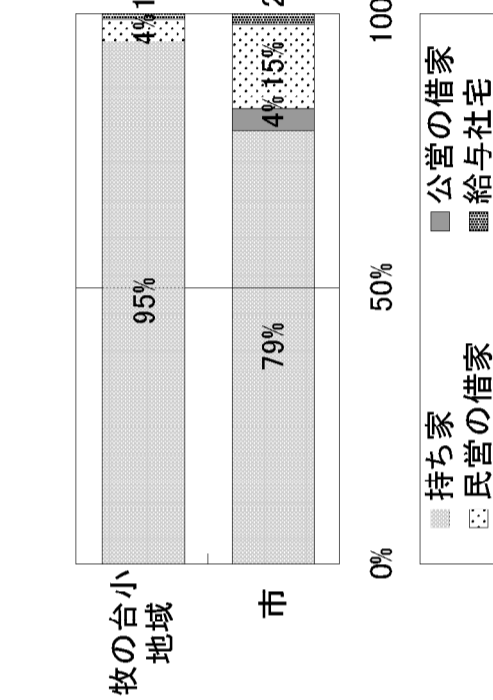
### 平均世帯人員

世帯あたりの人口は、2.4人となっています。



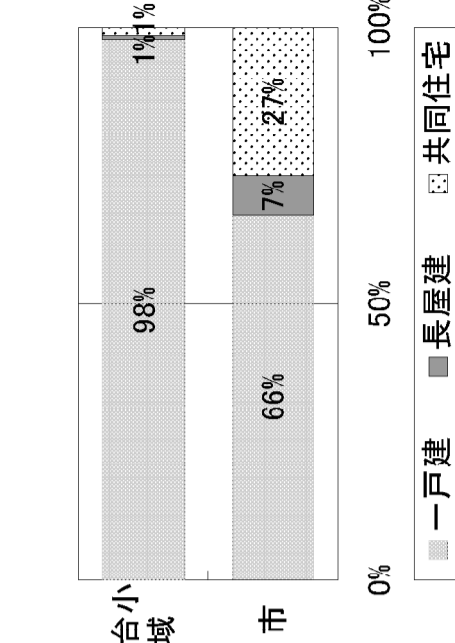
### 住宅の所有

市平均よりも、持ち家の割合が大きくなっています。



### 住宅の建て方

市平均よりも、一戸建の割合が大きくなっています。



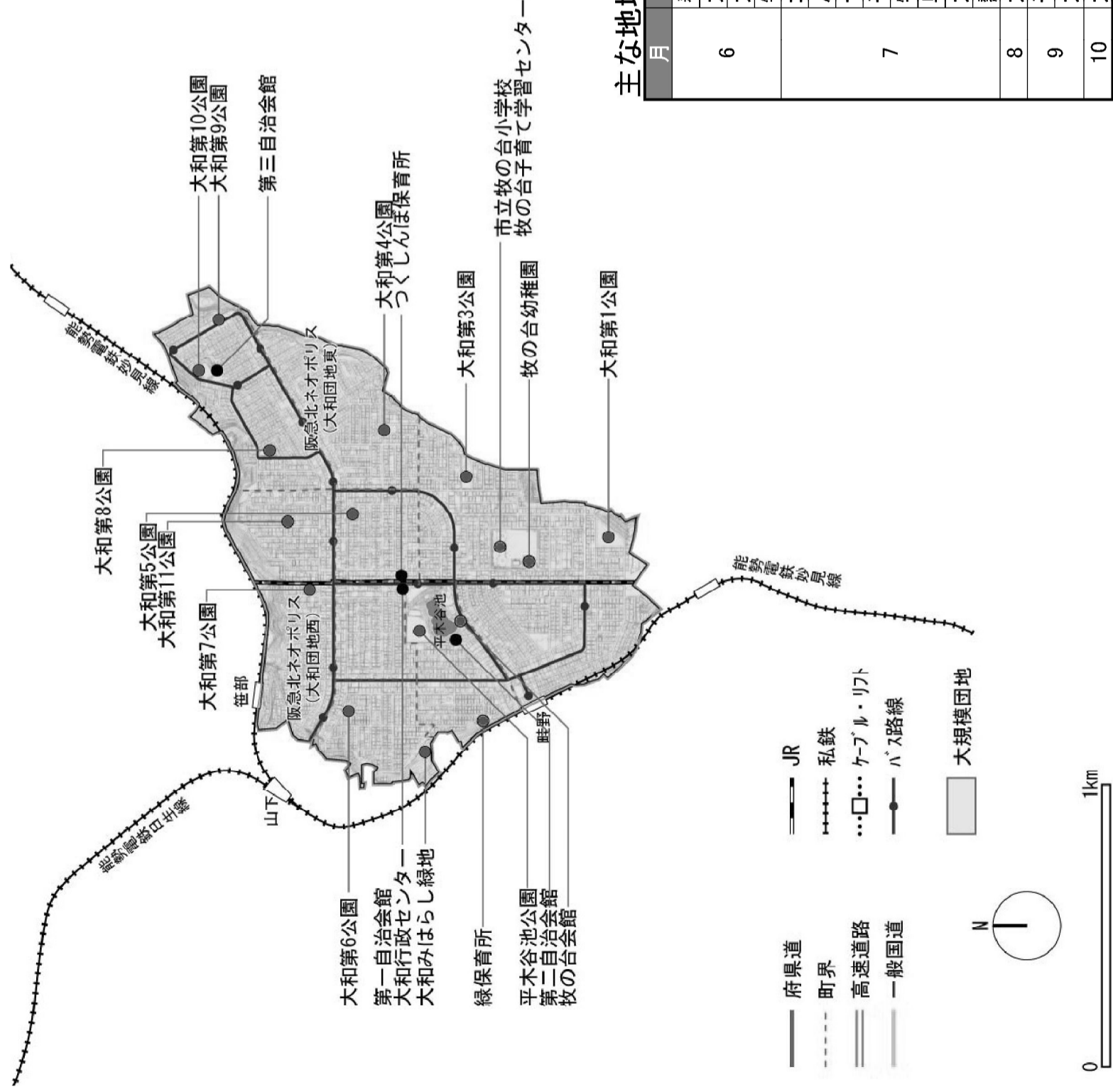
(住民基本台帳)

(H23住民基本台帳)

(H17国勢調査)

(H17国勢調査)

地域の主な資源



- ・ 能勢電鉄山下駅、畦野駅、笹部駅が地域の西側にあります。
- ・ 国道173号が地域の西側を走っています。
- ・ 昭和40年代から50年代にかけて、大和団地として約173ha（4,800世帯）の規模で開発されました。
- ・ 保育所などの福祉施設があります。
- ・ 牧の台小学校のほか、子育て学習センター、幼稚園などの教育施設があります。
- ・ 第一自治会館、第二自治会館、第三自治会館、牧の台会館などの会館があります。
- ・ 公園、児童遊園地が12カ所あります。

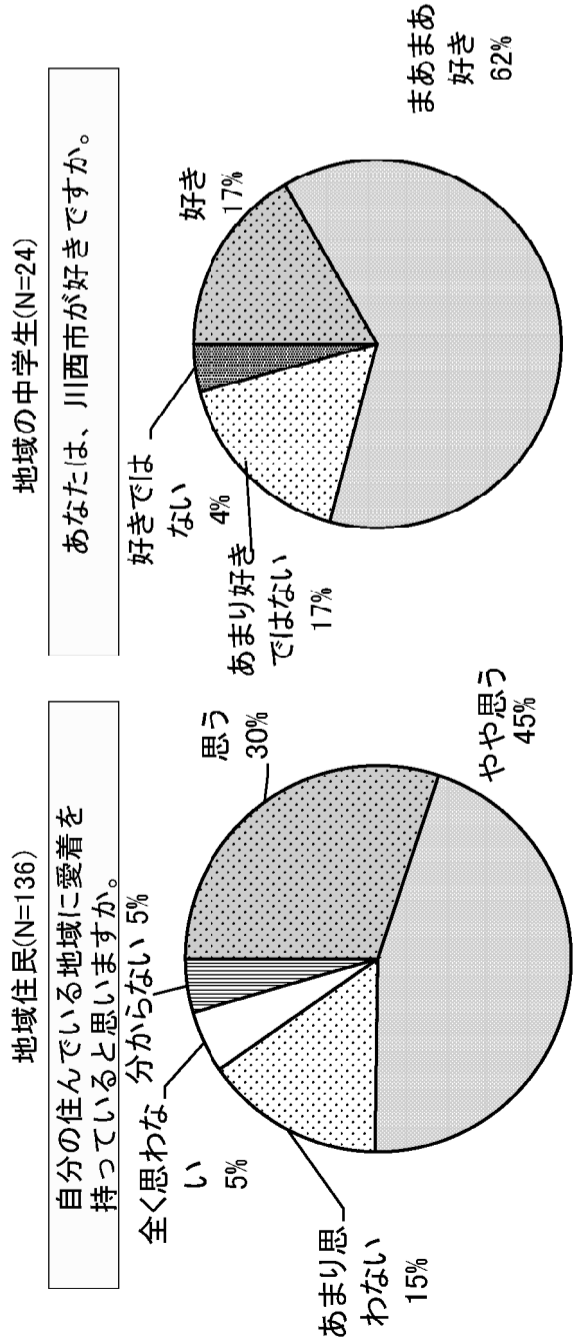
- ・ スポーツを介しての住民の交流が、一年を通じて行われています。
- ・ 大きな行事として、夏には「大和盆踊り」、秋には「大和体育祭」が行われています。
- ・ 冬は、当地域独自の取組である「夢ナリエ」が点灯されます。

主な地域活動

月	活動名	月	活動名
6	春季クリーンアップ大作戦	11	子ども文化カーニバル
	大和卓球大会		フォークダンスの集い
	大和マウンテンボール大会		大和バレーボール大会
	牧の台寄席		秋季クリーンアップ大作戦
7	コミュニティだより発行	12	牧の台幼稚園もちつき大会
	バトミントン大会		夢ナリエ点灯・コンサート
	サマーフェスタ・牧の台		クリスマスお楽しみ会
	子どもドッジボール大会		初詣・多田神社ランニング
	牧小プール解放		初詣・多田神社ウォーク
	早朝健康体操会		新春コンサート
	大和住民囲碁大会		大和トンド大会
8	熱中症予防講習会	2	体育館であそぼう・おひさま広場
	大和盆踊り		「昔の遊び教えて」牧小1年生遊びを指導
9	子育て支援「なかよしクラブ」	3	ソフトボール大会
	大和スローイングペンゴ大会		公園めぐりふれあいウォーク
10	大和体育祭	年3回程度	まちの保健室

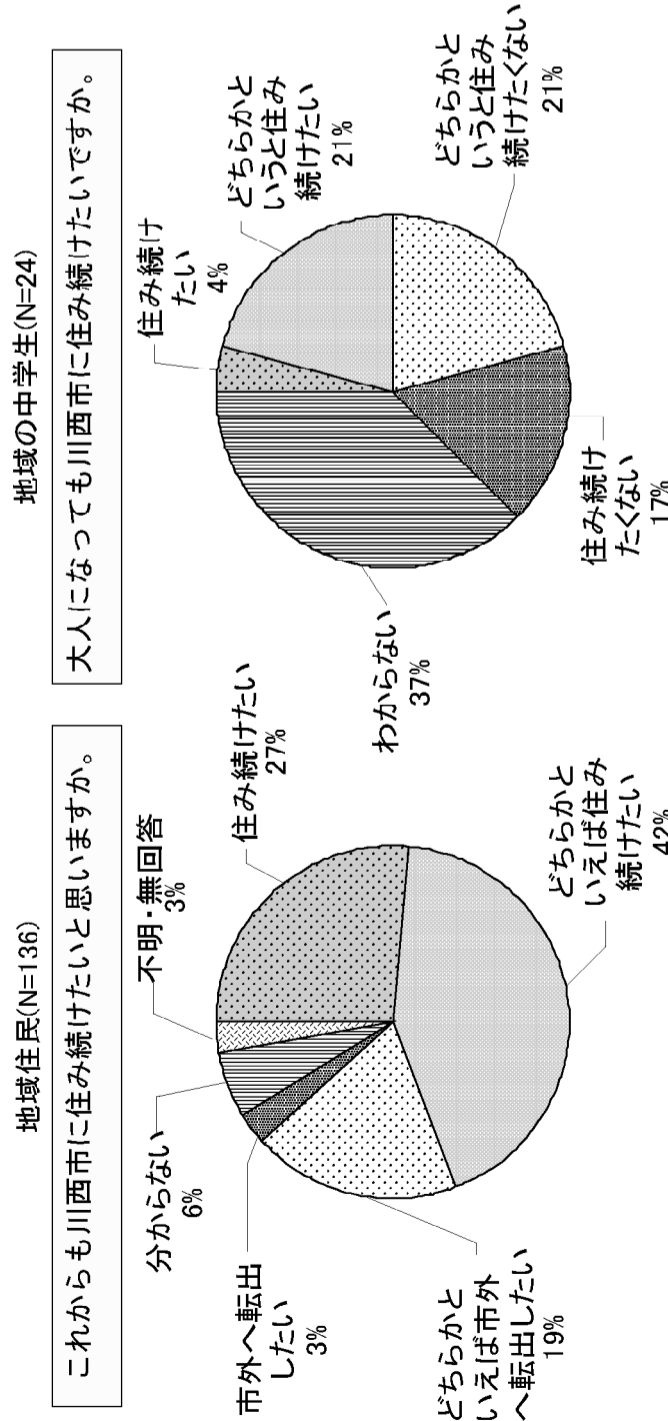
地域愛着

「愛着を持っていると思う」「やや愛着を持っていると思う」と答えた地域住民は、75%となっています。  
 地域に住む中学生は、川西市が「好き」「まあまあ好き」の回答が、79%となりました。



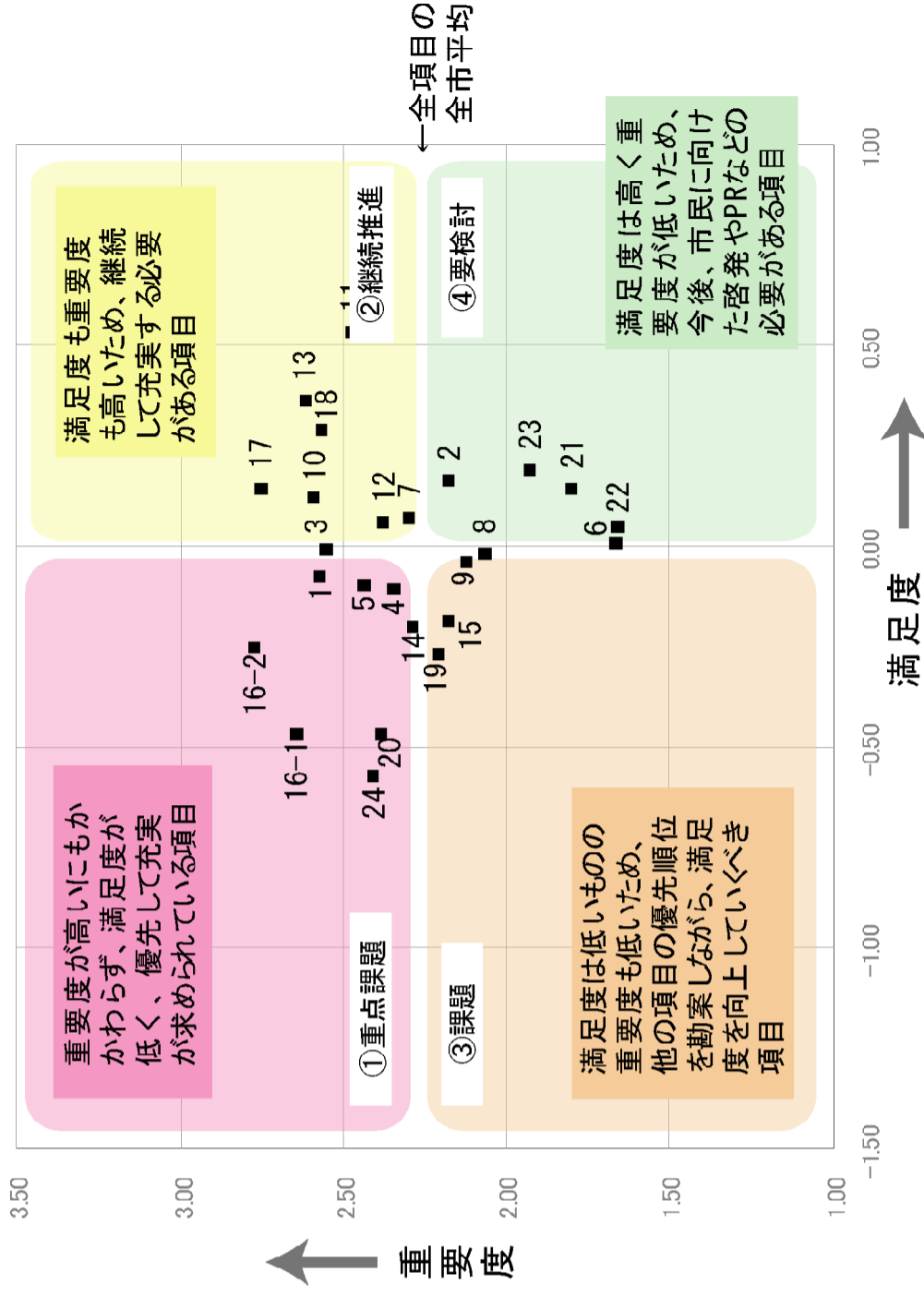
定住意向

「住み続けたい」「どちらかといえれば住み続けたい」と答えた地域住民は、69%となっています。  
 一方で、中学生では、25%となりました。



暮らしの中の課題と重要度

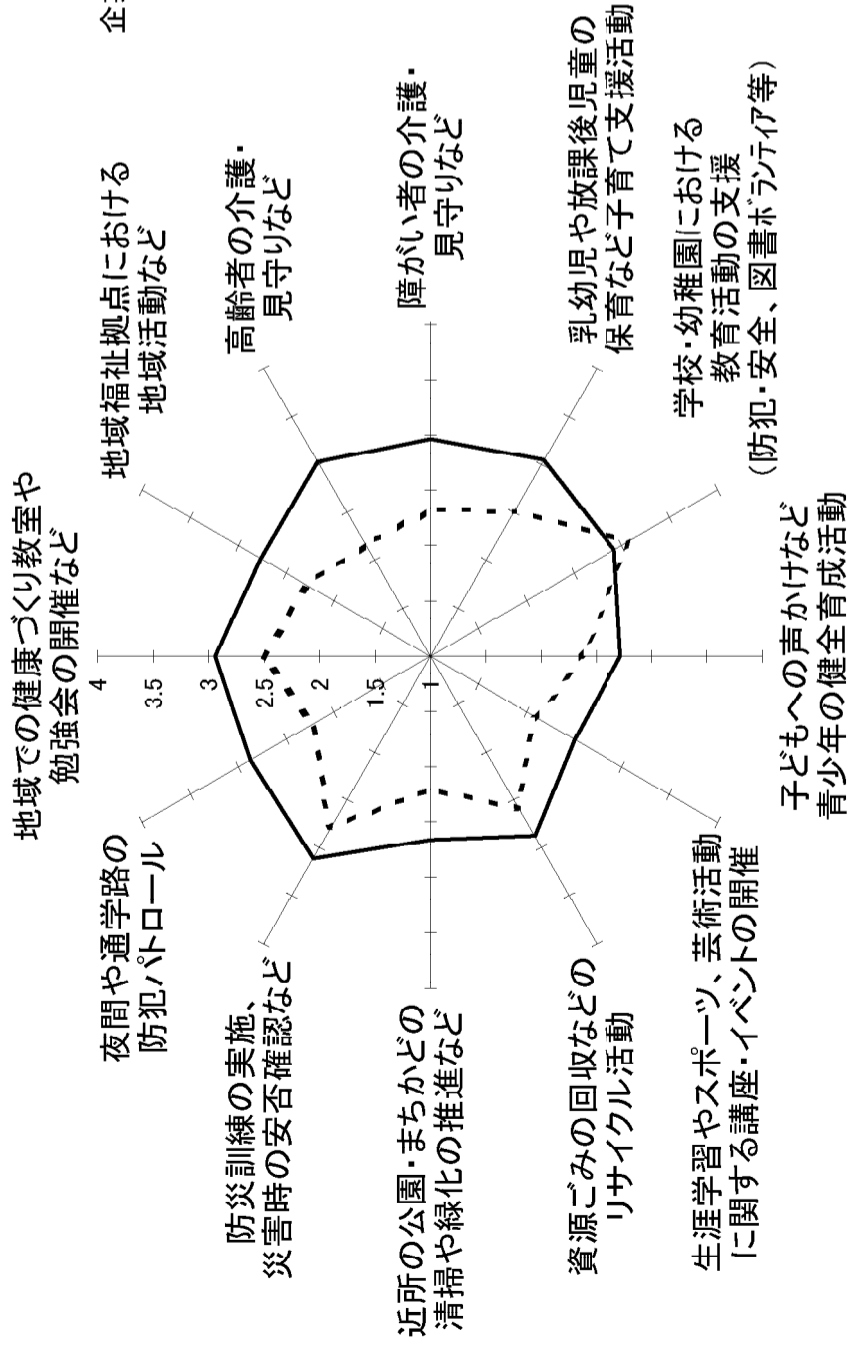
重要な課題として、「公共交通の利便性向上」「交通施設の整備」「健康づくりの支援」が挙げられています。



<b>①重点課題</b>	1.健康づくりの支援 4.障がい者の支援 5.子育て支援 14.都市計画の推進 16-1.交通施設の整備 16-2.公共交通の利便性向上 20.労働環境の向上 24.効率的な行政の運営	<b>②継続推進</b>	3.高齢者の支援 7.学校教育環境の整備 10.環境の保全 11.省資源・リサイクル 12.公園・みどりの整備 13.上水道の安定供給 17.防災力の向上 18.生活安全の推進
<b>③課題</b>	9.生涯学習・文化の振興 15.市街地整備 19.産業の振興	<b>④要検討</b>	2.地域福祉の推進 6.低所得者福祉 8.青少年の育成 21.観光の振興 22.共感・共生のまちづくり 23.参画と協働のまちづくりの推進

取組みの重要度と、市民の意欲

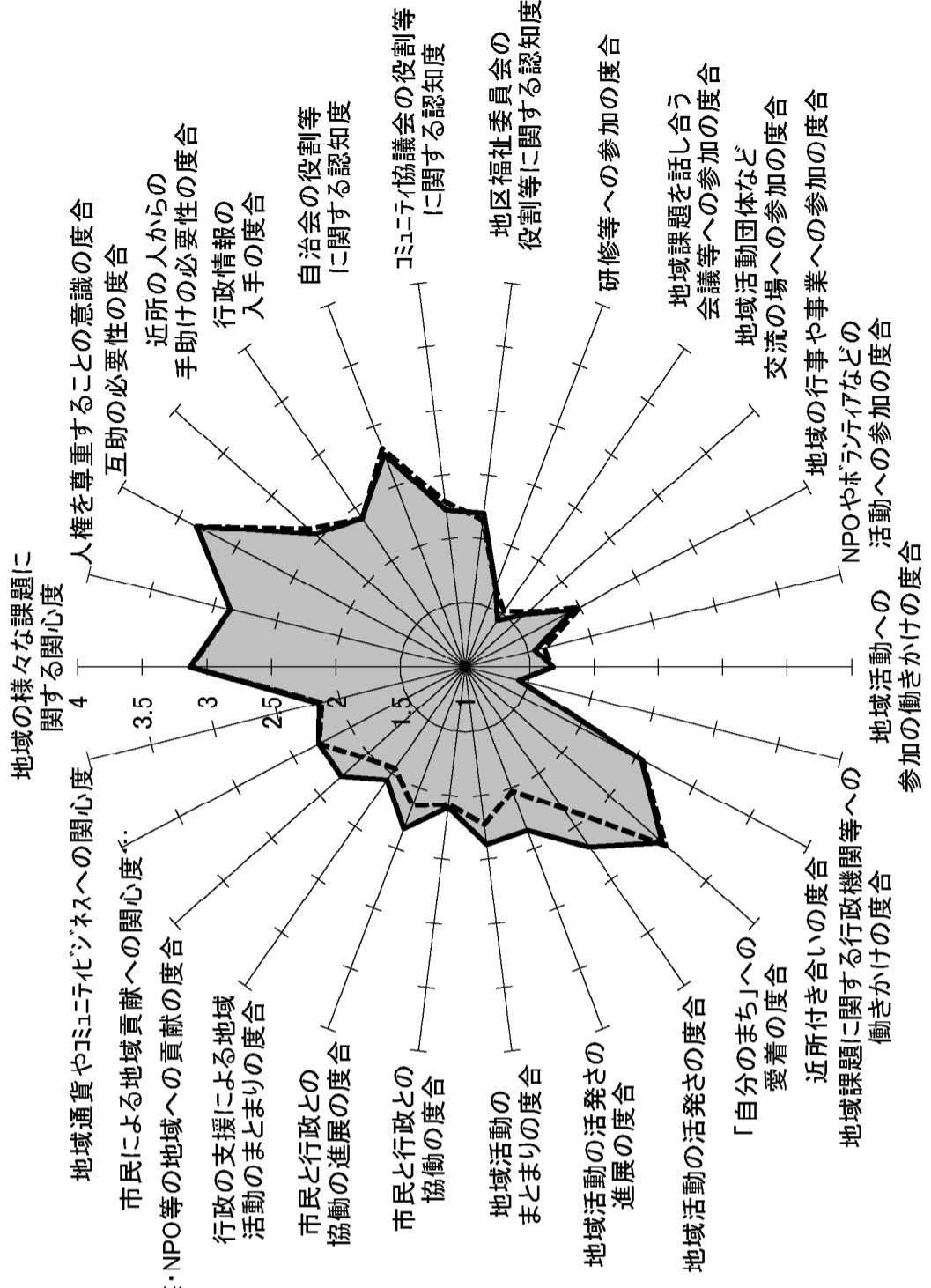
重要度が特に高いのは、「防災訓練の実施、災害時の安否確認など」「乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動」「高齢者の介護・見守りなど」です。  
 地域で担うべきと考えられているのは、「学校・幼稚園における教育活動の支援」「防災訓練の実施、災害時の安否確認など」「資源ごみの回収などのリサイクル活動」となっています。



□ 取組みの重要度 (大きい方が重要度が高い)  
 ■ 地域が担うべき取組み (大きい方が「市民が担うべき」、小さい方が「市が担うべき」)  
 ※値は「わからない」および無回答を除く、小学校区別の平均値

地域の力

特に数値が高いのは、「互助の必要性の度合い」「地域の様々な課題に関する関心度」「自分のまちへの愛着の度合い」です。



□ 地域  
 ■ 市